

JB
1735
BLANCPAIN
MANUFACTURE DE HAUTE HORLOGERIE

お求めいただきました時計について



パワーリザーブ

ブランパンの自動巻腕時計は、普通の状態では1日中身につけていれば、40時間から288時間の持続時間を蓄えることができます。

時計が止まってしまった場合は、リュウズを40回ほど巻き上げてから腕につけてください。時計を動かすための最小限の動力が蓄えられます。日付と曜日が真夜中に変わるモデルのものは、カレンダーを変えるのに約20時間分の動力が必要です。パワーリザーブがないと真夜中で止まってしまう恐れがありますのでご注意ください。

防水

水や埃の浸入を防ぐためブランパンのほとんどのモデルは、ミニッツリピーターをのぞき、防水機能を備えています。100メートル以上の防水機能のついた時計を着けたまま泳ぐことは可能ですが、その場合の防水機能の保証は2年間限りです。2年の保証期間終了後は防水機能が低下していて、修理費がかかる原因になります。毎年お近くのブランパン代理店にて点検されることをお勧めします。

ネジ込み式リュウズ、プッシュボタン、裏蓋を使用する時計は、水深100メートルまで対応できる本格的防水機能を備えています。リュウズ、プッシュボタンについての操作方法は、お手持ちの使用説明書をご参照ください。

フィフティ ファゾムスの防水機能の保証：

フィフティ ファゾムスは300メートル防水テスト、500 ファゾムスは1,000メートルの防水テストにそれぞれ合格しています。優れた防水性と全機能の精度を保つために、お近くのブランパンアフターセールスサービスで定期的に時計の点検を行うことをお勧めします。

注意

フィフティ ファゾムスはプロ用のダイビング器機またはダイビングコンピューターではありません。必要に応じてプロ用のダイビングコンピューターを併用してください。

メートルで表示された防水性の数値はバールで表示された気圧の数値に比例しています。
1バールは水深10メートルの圧力に相当します。

ムーブメントのメンテナンス

機械式時計は全て、メンテナンスを必要とします。ブランパンの時計は、部品のそれぞれの材質も優れており、高品質の潤滑油も使われていますが潤滑油切れによるムーブメントの消耗を防止するためにも、5年に1度はブランパン ショップにて分解掃除と油の交換をお勧めします。

定期的なメンテナンスを行うことによって、潤滑油切れによる必要以上の消耗を防止し、未永くご使用いただくことができます。

アフターサービス

機械式ムーブメントは、定期的なメンテナンスを行えば未永くご使用いただけるものです。

したがって、アフターサービスの質がとても大切になってきます。ですから、アフターサービスに送られてくるブランパンの時計のメンテナンスは、時計を製造する際に行われる品質検査と動作確認と同じレベルで行われます。ブランパンのムーブメントは複雑なものですから、アフターサービスはブランパンの正規代理店でのみお受けになれますよう、お勧めします。

世界各地のブランパン代理店の所在地につきましては、当社のウェブサイト (www.blancpain.com) をご参照ください。

機械式時計の精度を維持する方法

複雑な調整および修理は、ブランパン代理店または当社にご依頼ください。

日付・秒表示 逆回転防止ベゼル付

自動巻腕時計

キャリバー 1315、5日間パワーリザーブ



5015

操作前にリュウズ（位置 A）のネジ込みをゆっくりと緩め、セット後にリュウズを押し込みながら固定されるまで締め込んでください。

リュウズは3段階です：

位置 A、巻き上げる場合のリュウズ位置です。

位置 B、日付をクイック修正する場合の、引き出したリュウズ位置です。

位置 C、時刻をセットする場合の、引き出したリュウズ位置で、時、分の修正が可能です。また、秒針は自動的に停止します。

逆回転防止ベゼル：

菱形のマーク（◆）を分針の位置に合わせます。この操作により、分針の動きに基づき、潜水時間などの測定時間をベゼルで瞬時に読み取ることができます。

重要

防水保証については、2～3ページをご覧ください。

三つ折式フォールディング・バックル（セーフティロック式）

フォールディング・バックルには、特別に作られたブランパンの革ストラップのみが用いられます。安全性と快適性が保証されるよう、新しいバックルはブランパンの正規代理店にて取り付けてもらふことをお勧めします。ストラップの長さはいつでもご自分で変えることができます。



開ける：

留め具を開けるには、側面のプッシュボタンを押してカバーを持ち上げてください（図1）。さらにもう一方を持ち上げて開きます（図2）。



図1



図2

閉じる：

腕時計を腕に通します。12時側のストラップを元の位置に戻し、親指で押さえながら閉じます（図3）。6時側のストラップも同様にして閉じます（図4）。



図3



図4

長さの調節:

時計に付属している工具を使ってネジを緩めます (図5)。

バックルにストラップを通し、希望する穴に雌ネジを差し込みます (図6)。雌ネジにネジを取り付け、付属の工具を使って締め付けます。(図7-8)。



図5



図6



図7



図8

フィフティ ファゾムス／500ファゾムス用ストラップ交換キット

この交換用キットは、フィフティ ファゾムスおよび500ファゾムスのストラップ交換の際に時計本体を固定するために、ブランパンによって開発されました。この交換用キットを使うと、例えばレザーストラップをラバーストラップに変えるなど、お好みのストラップへの交換作業をきわめて容易に行うことができます。

フィフティ ファゾムス／500ファゾムスのストラップ交換手順：

フィフティ ファゾムス／500ファゾムスは、セイルキャンバスストラップ、ステンレススチールブレスレット、レザーストラップ、およびダイビング用のラバーストラップから選ぶことができます。これらのストラップを容易に交換できるように、ブランパンは専用の交換用キットを開発し、必要な工具および付属品とともに提供します。

4箇所の収納スペース：

交換用キットには4箇所の収納スペースが備わり、英語の表記に従って付属品と交換部品を収めておくことができます。



Bits=ビットホルダー（六角レンチドライバー）、
ねじ込み栓の中に収められた予備のビット



Screws=ビットホルダー（六角レンチドライバー）、
ねじ込み栓の中に収められた予備のビット固定ネジ



Screws = 押し出しピン、
予備のストラップ固定ネジ

Tubes=ストラップ装着チューブ

付属品と交換部品



固定台



押し出しピン



ビットホルダー（六角レンチドライバー）
ねじ込み栓付



ビット固定ネジ



ストラップ装着チューブ



六角レンチドライバービット



チューブ固定ネジ



ねじ込み栓

2個のビットホルダーは、固定台の両側面に開けられた収納部に差し込まれています。

押し出しピン、ドライバービット、ストラップ装着チューブ、チューブ固定ネジは、固定台の各側面に収納されています。

ビット固定ネジは、ねじ込み栓付きビットホルダーの軸の中に取められています。

六角レンチドライバービットは、ビット固定ネジを使ってビットホルダーの中に固定されます。

ドライバービットをビットホルダーに差し込んで、ビットの平らな部分をネジ穴側に向けます。ビット固定ネジを締めて、その先端をビットの平らな部分にしっかりと押し付け、ビットホルダーの中にビットを固定します。



ストラップの取り外し:

2個のビットホルダーを固定台の左右のガイド穴に差し込みます。ドライバーを回して、先端をストラップ固定ネジの頭の穴に合わせます。

ドライバーの先端をネジの頭の穴に合わせたら、できるだけ穴の奥まで差し込みます。

左右のドライバーを同時に反時計方向に回してネジを緩めます。



ネジを完全に緩めたら、それぞれの六角レンチドライバーの先端にネジが付いた状態で、慎重にドライバーをガイド穴から引き出します。

押し出しピンをストラップの穴に差し込みます。押し出しピンをゆっくりと力を入れて押し込みます。ストラップ装着チューブを指で挟んで慎重に引き抜きます。これで、ストラップが腕時計のケースから外れます。

もう片方のストラップについても上記の作業を繰り返します。

ストラップの取り付け:

押し出しピンを使って、ラグの穴とダイビングストラップ装着チューブ挿入穴の位置を正確に合わせます。バックルを備えたストラップが、12時位置のラグに装着されていることを確認します。

固定台側面のガイド穴の中にストラップ装着チューブを差し込みます。必要に応じて押し出しピンを使用してもかまいません。

押し出しピンを使って、ストラップ装着チューブがラバーストラップの穴を完全に貫通するまで押し込みます。反対側の先端にストラップ固定ネジを取り付けます。

ケースの反対側のラグについても上記の作業を繰り返します。

ネジを紛失しないように気をつけながら、2個のビットホルダーを左右両側のガイド穴の中に向い合せに差し込みます。ビットホルダーを時計方向に回して、先端がストラップ装着チューブに届くまで押しこみます。

左右のネジを時計方向に回して完全に締め付けます。ただし、力を入れすぎるとネジが壊れることがあります。

ケースの反対側のラグについても上記の作業を繰り返します。これでダイビングストラップが腕時計に装着されました。固定台の取り外し穴から指で押して、腕時計を固定台から取り外します。

ステンレススチールブレスレット、レザーストラップ、セイルキャンバスストラップなど他のストラップに交換するときも、上記の交換手順を参照してください。

